2026年10月24日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,772万kW
17時30分、87,720 MW
（10エリア同時刻合計）

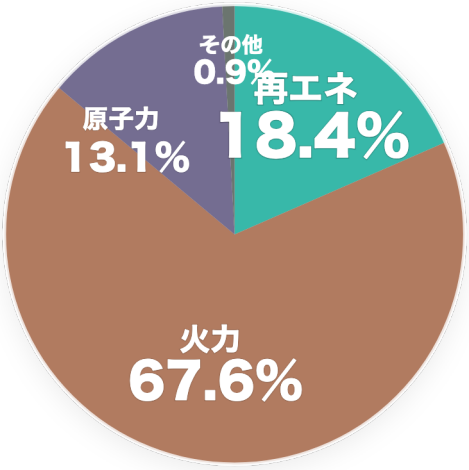
☀ 太陽光ピーク
1,198万kW
12時30分、11,979 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
173万kW
0時30分、1,726 MW

◇ 再エネ最大需要比
27.6%
12時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
112 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
86.2 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 37.9%

30.1 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

24.8 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:30に2,784万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで37.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**18.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**353 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,917 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**27.6%**	12時30分
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**24.8 GWh**	発電構成比には含めない

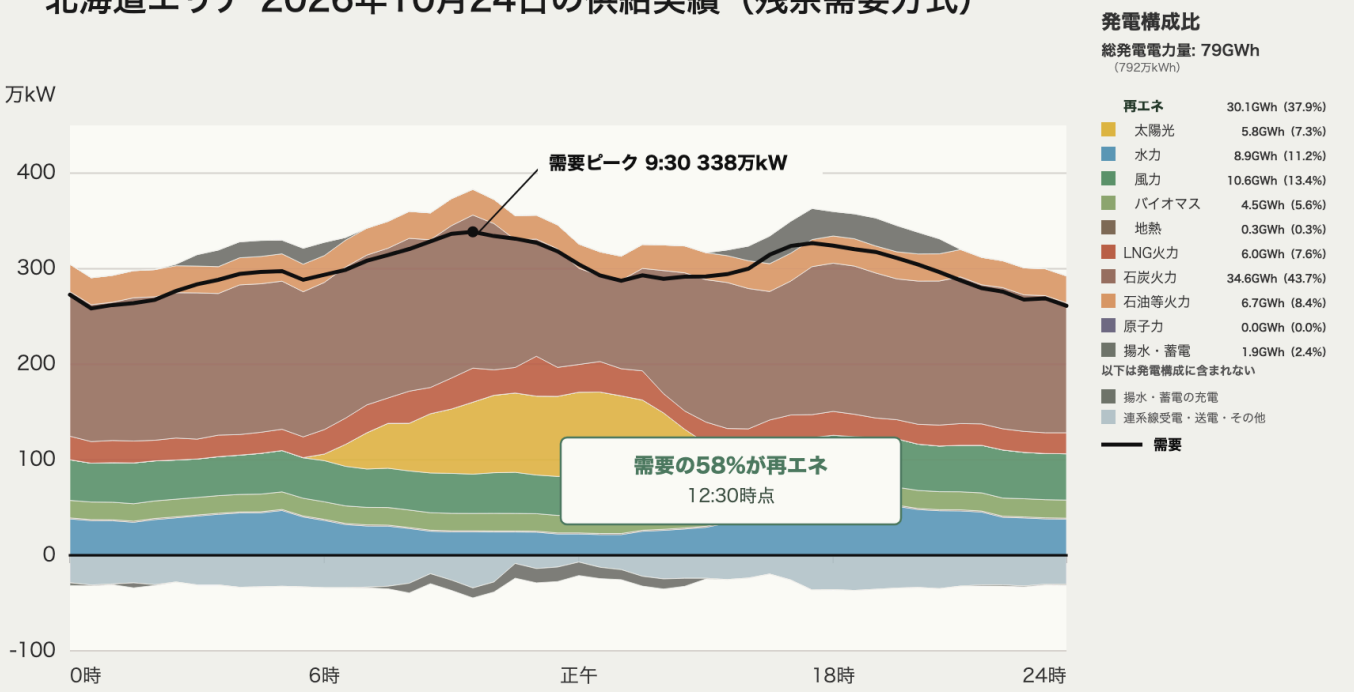
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**37.9%**	**30.1**	**0.0**	**送電 6.7**
東北	**22.8%**	**60.9**	**0.0**	**送電 86.2**
東京	**11.1%**	**53.8**	**0.0**	**受電 112**
中部	**22.6%**	**53.1**	**0.0**	**受電 40.9**
北陸	**33.0%**	**21.9**	**0.0**	**送電 7.3**
関西	**13.5%**	**39.3**	**0.0**	**受電 35.1**
中国	**11.0%**	**15.3**	**0.0**	**送電 7.4**
四国	**23.1%**	**21.0**	**0.0**	**送電 33.4**
九州	**23.5%**	**55.6**	**0.0**	**送電 27.8**
沖縄	**9.3%**	**2.5**	**0.0**	—

2026年10月24日の供給実績

北海道エリア

再エネ
30.1GWh
（発電電力量ベース37.9%）

北海道エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.2GWh

需要ピーク
9:30、338万kW

連系線・その他
6.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

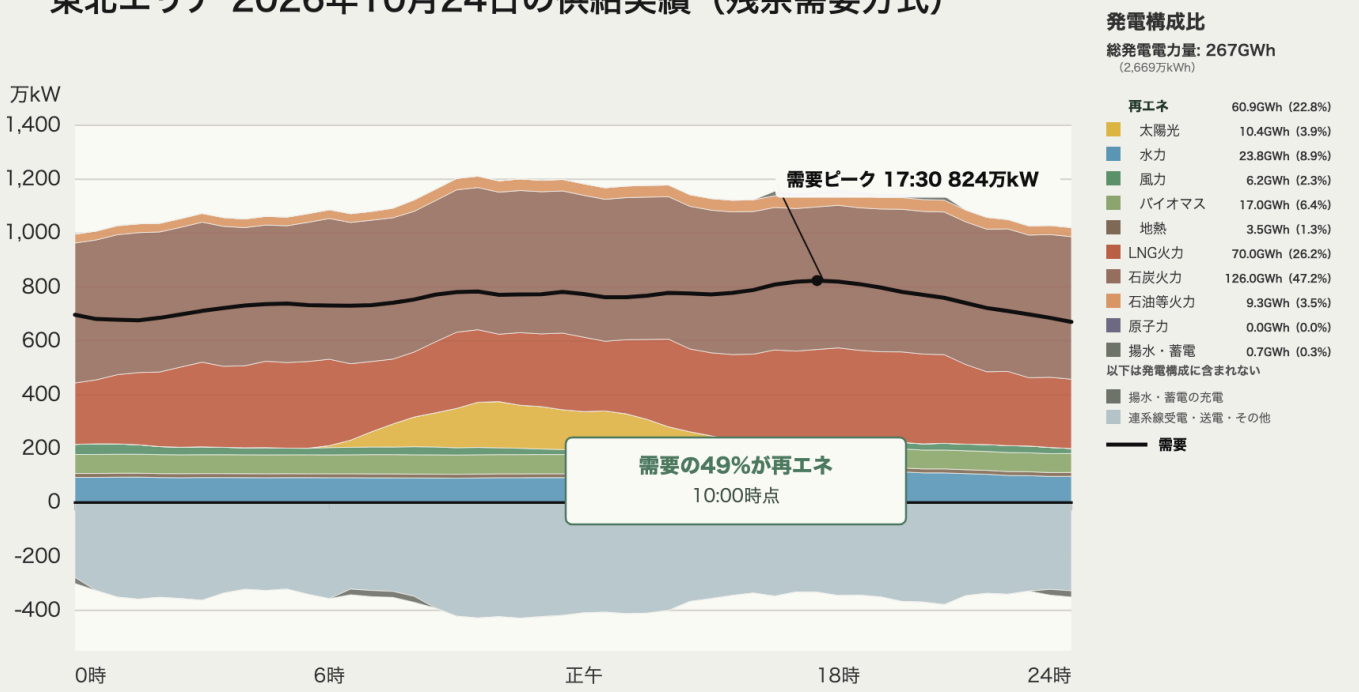
北海道は、太陽光ピーク88万kW、風力ピーク52万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.3%だった。

2026年10月24日の供給実績

東北エリア

再エネ
60.9GWh
（発電電力量ベース22.8%）

東北エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
266.9GWh

需要ピーク
17:30、824万kW

連系線・その他
86.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

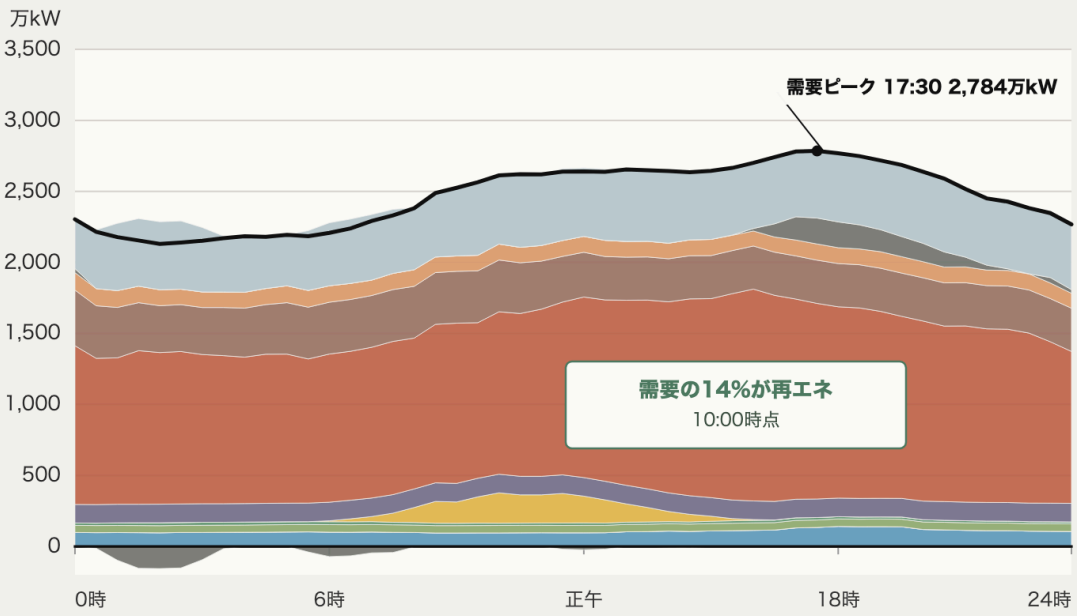
東北は、太陽光ピーク172万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.6%だった。

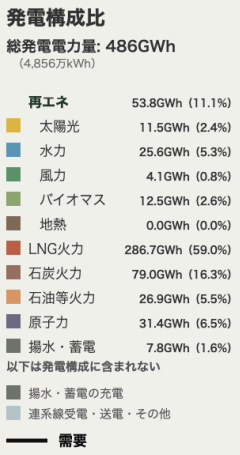
2026年10月24日の供給実績

東京エリア

再エネ
53.8GWh
（発電電力量ベース11.1%）

東京エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）





出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
485.6GWh

需要ピーク
17:30、2,784万kW

連系線・その他
111.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

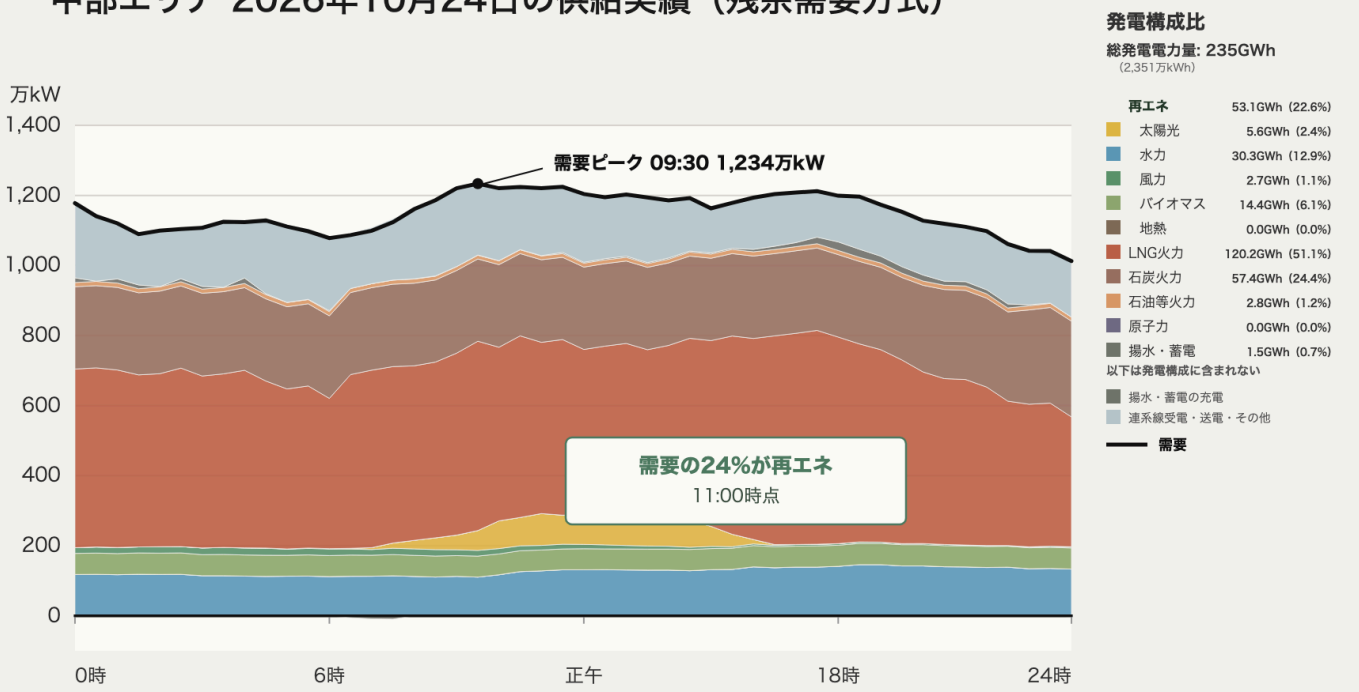
東京は、太陽光ピーク214万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は14.4%だった。

2026年10月24日の供給実績

中部エリア

再エネ
53.1GWh
（発電電力量ベース22.6%）

中部エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
235.1GWh

需要ピーク
09:30、1,234万kW

連系線・その他
40.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

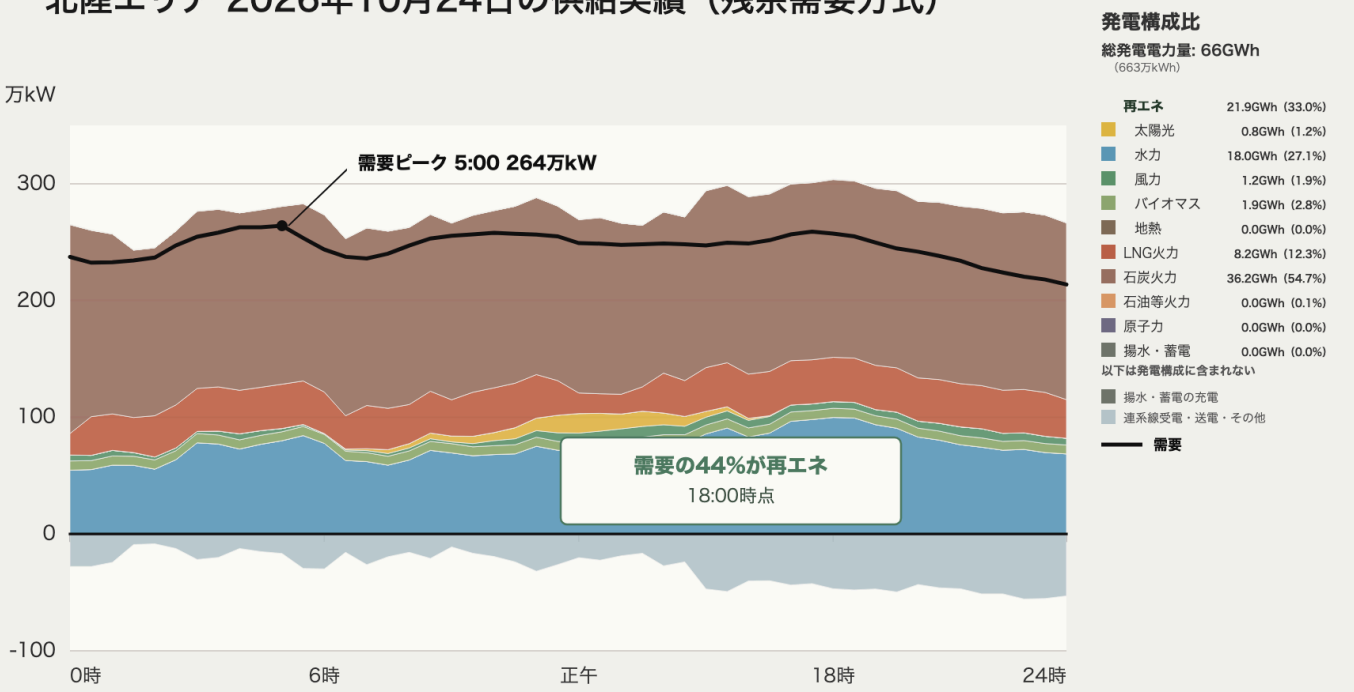
中部は、太陽光ピーク91万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.1%だった。

2026年10月24日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.9GWh
（発電電力量ベース33.0%）

北陸エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
66.3GWh

需要ピーク
5:00、264万kW

連系線・その他
7.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

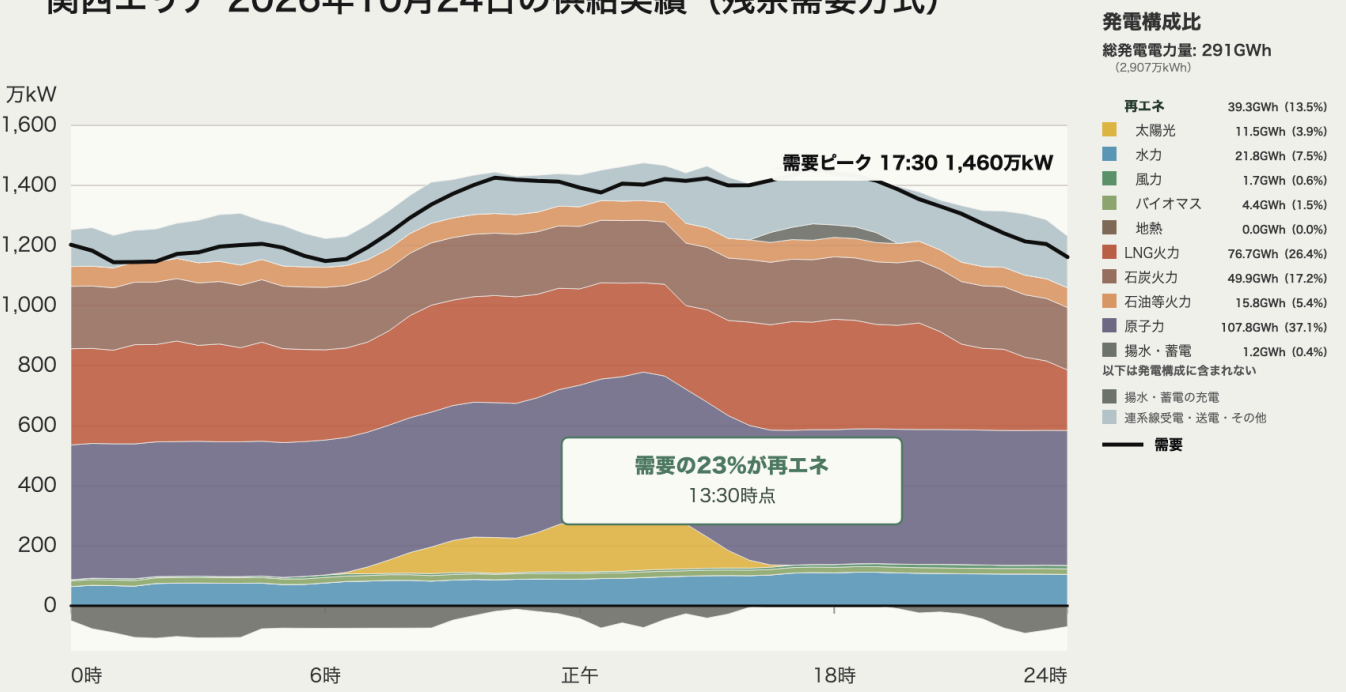
北陸は、太陽光ピーク17万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.3%だった。

2026年10月24日の供給実績

関西エリア

再エネ
39.3GWh
（発電電力量ベース13.5%）

関西エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
290.7GWh

需要ピーク
17:30、1,460万kW

連系線・その他
35.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
12.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

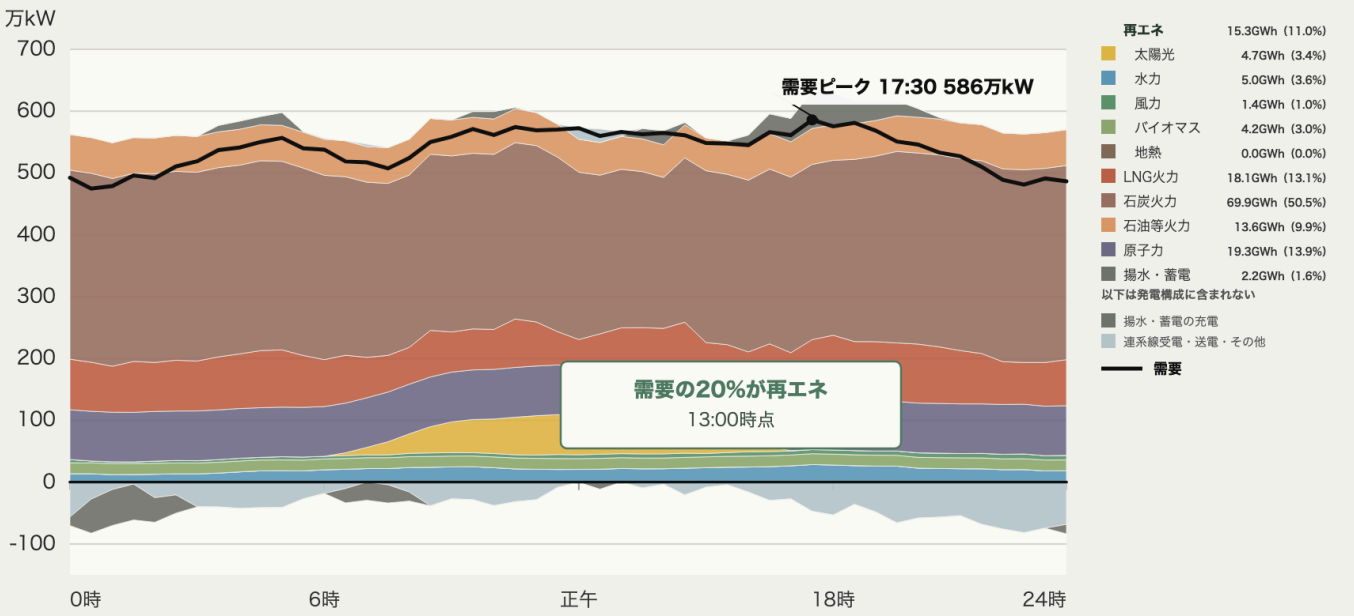
関西は、太陽光ピーク211万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.5%だった。

2026年10月24日の供給実績

中国エリア

再エネ
15.3GWh
（発電電力量ベース11.0%）

中国エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
138.5GWh

需要ピーク
17:30、586万kW

連系線・その他
7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

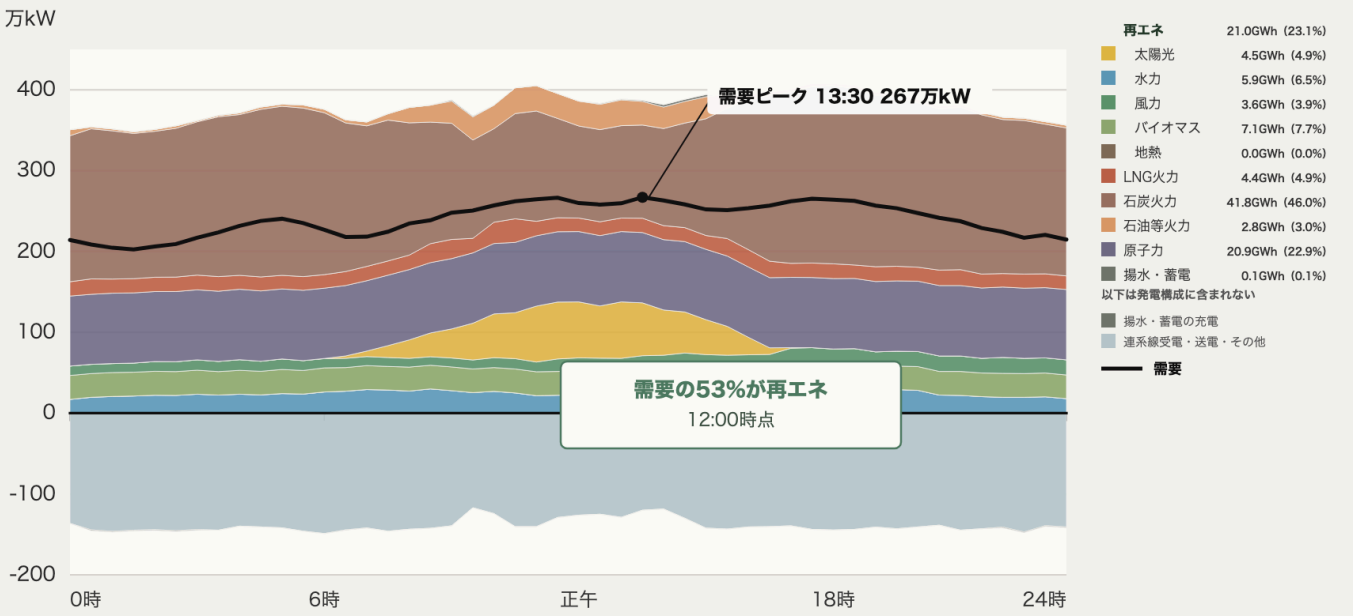
中国は、太陽光ピーク66万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.7%だった。

2026年10月24日の供給実績

四国エリア

再エネ
21.0GWh
（発電電力量ベース23.1%）

四国エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
91.0GWh

需要ピーク
13:30、267万kW

連系線・その他
33.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

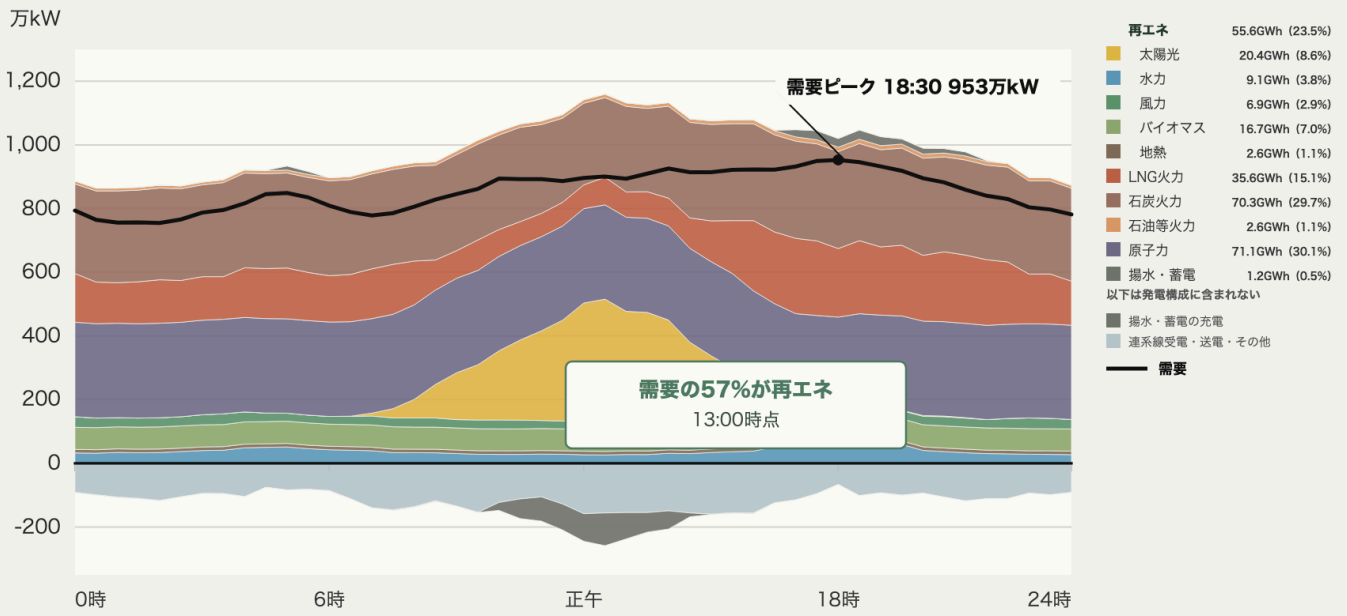
四国は、太陽光ピーク70万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.0%だった。

2026年10月24日の供給実績

九州エリア

再エネ
55.6GWh
（発電電力量ベース23.5%）

九州エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
236.4GWh

需要ピーク
18:30、953万kW

連系線・その他
27.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

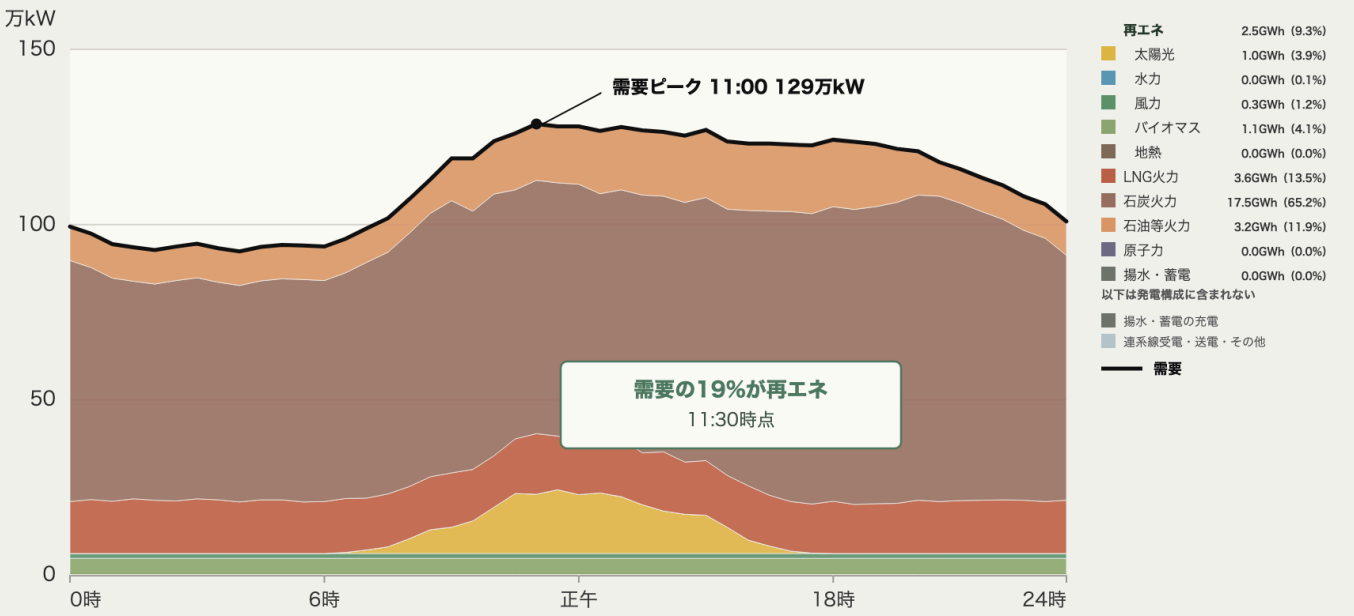
九州は、太陽光ピーク381万kW、風力ピーク34万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.2%だった。

2026年10月24日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.5GWh
（発電電力量ベース9.3%）

沖縄エリア 2026年10月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
26.9GWh

需要ピーク
11:00、129万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク18万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.0%だった。